様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	計量検査事業	コード	165129

２ 担当部課	部等	産業振興部	課等	工業振興課	作成者	下田典弘

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
	政　策	総合計画の推進に向けて	施　策	その他
	予算科目	計量検査事業費	業務委託	
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	
	根拠法令	計量法		

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		計量検査の適正な実施により、正確な計量器の機能を維持する。
目的	対象者	各種計量器を扱う企業、業者、個人
	意　図	適正な計量器メーターの設置

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

特定計量器（質量計）の定期検査を実施したほか、新聞広告やポスター等を通じて、計量に関する周知啓発を推進した。
【検査実施数】
特定計量器定期検査（集合検査、所在場所検査）
　・検査事業所数48社　検査個数213件
商品量目立入検査
　・市内4店舗　検査個数200件

前年度の課題への対応	質量計の検査を定期的に行い、計量器の適正な維持に努めた。

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	検査数			単位 件
実績値	419	292	213	
＊指標の説明	計量器定期検査実施件数			
② 成果指標（指標名）	合格件数			単位 件
目標値	77	419	292	
実績値	419	284	202	
達成度	544.2%	67.8%	69.2%	
＊指標の説明	定期検査合格件数			
＊目標値の設定方法の説明	前年度検査実施件数			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	224,582	317,077	201,638	34,600
経常経費	224,582	317,077	201,638	34,600
臨時的経費	0	0	0	
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費	3,200,000	3,200,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数（人）	0.40	0.40	0.30	0.30
③ 合計コスト（①＋②）	3,424,582	3,517,077	2,601,638	2,434,600
前年度比		102.7%	74.0%	93.6%
財源内訳 一般財源	3,424,582	3,517,077	2,601,638	2,434,600
財源内訳 特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	8,173	12,045	12,214	
前年度比		147.4%	101.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　標準**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　71.1%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　69.2%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 計量法に基づいた検査を実施するため、事業者に検査日程等の周知を徹底し、適正な検査業務を実施する。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 検査スケジュールに基づき、対象事業者へ周知を行い、効率的な検査の実施に努める。
	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	